

江別市 予算案



基本方針

平成31年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の後期5年間のスタートの年となります。
「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

予算編成のポイント

平成31年度当初予算は、市長・市議会議員の改選期にあたるため、いわゆる骨格予算となりますが、基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を、政策の中枢に据えて取組を推進します。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

安心して暮らせるまち

- 健康都市推進事業
- プレミアム付商品券事業
- 生涯活躍のまち整備事業
- 定住促進事業
- 住宅取得支援事業
- 江別の顔づくり事業
- 新栄団地建替事業

活力のあるまち

- ラグビーワールドカップ公認チームショップ地受入事業
- 入道山スキー場冬季リフト改修補助金
- 観光振興計画推進事業
- 地域発見魅力発信事業
- 総合特区推進事業
- 「食」と「農」の豊かさ発見実践事業
- 有給インターンシップ等地域就職支援事業

子育て応援のまち

- 医療的ケア児支援事業
- スクールソーシャルワーカー事業
- 放課後児童クラブ運営費補助金
- 放課後児童クラブ待機児童対策事業
- 保育料の独自軽減
- 待機児童解消対策事業
- 民間社会福祉施設整備費補助事業

環境にやさしいまち

- 自治会防犯灯設置費補助金（LED化）
- 花のある街並みづくり事業
- 地域緑化事業
- 環境教育等推進事業
- 生ごみ減量化推進事業

予算規模（各会計予算額）

	平成30年度	平成31年度	増減	率
一般会計	43,550,000	45,820,000	2,270,000	5.2%
特別会計	24,255,000	24,258,000	3,000	0.0%
企業会計	17,976,463	17,628,911	△347,552	△1.9%
全会計	85,781,463	87,706,911	1,925,448	2.2%

（単位：千円）

一般会計は458億2千万円で、前年度から22億7千万円（5.2%）増加しました。

これは、プレミアム付商品券事業や、福祉・医療などの社会保障費の増加などによるものです。

全会計合計では、877億691万1千円となり、前年度から19億2,544万8千円（2.2%）増加しました。

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよいうえべつをめざします

花のある街並みづくり事業

3,325 千円

美しい街並みを創出するため、花壇づくりに積極的に取り組む自治会等へ、市民憲章推進協議会を通じて、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力金を助成します。

- ◆ 花苗助成事業等補助
- ◆ 活動協力金



花のある街並みづくり

古着・古布及び小型家電

資源化事業 1,857 千円

ごみの減量化、資源化推進のため、古着・古布及び小型家電の拠点回収を実施します。また、市民のごみの減量化、資源化に対する意識を高めます。

- ◆ 古着・古布及び使用済み小型家電の拠点回収



生ごみ減量化推進事業

317 千円

家庭からの生ごみ排出量を減らすための取組を進めます。

- ◆ 生ごみ堆肥化容器購入助成
- ◆ 生ごみ堆肥化講習会
- ◆ 食材使いきりレシピ講習会



夏休み環境学校（水辺の自然塾）

環境教育等推進事業

4,173 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発をしていきます。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育
小学校向け出前授業、ごみ減量体験講座
出前環境学校、夏休み環境学校 など
- ◆ 市民環境講座

地域緑化事業

1,903 千円

市民との協働により地域緑化を推進し、みどり豊かな江別をつくります。

- ◆ 市民植樹の実施
- ◆ 樹木の病虫害防除
- ◆ 自治会・学校等への苗木提供
- ◆ 石狩川300万本植樹への参加



市民植樹

その他主要事業（政策01）

■ 環境負荷軽減推進事業	5,313千円
■ 太陽光発電啓発事業	635千円
■ 環境マネジメントシステム事業	884千円
■ ごみ処理手数料等管理経費	82,031千円
■ ごみ収集運搬業務委託	395,000千円
■ 街路樹維持管理事業	18,780千円

■ 環境クリーンセンター等 長期包括的運営管理委託事業	988,840千円
■ リサイクルセンター管理運営事業	62,534千円
■ 分別・資源化等啓発事業	3,361千円
■ 資源回収奨励事業	41,149千円
■ ごみ排出抑制啓発事業	2,243千円

地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします

都市と農村交流事業

1,600 千円

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援します。また、市内だけでなく近隣にも江別の農畜産物のファンが拡大することを目指し、積極的にPRします。

- ◆ 直売所スタンプラリーの実施
- ◆ 収穫体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シールの作成
- ◆ 農畜産物加工新商品開発等支援



都市と農村交流事業 農家のかあさん土曜日



都市と農村の交流センター「えみくる」

都市と農村の交流センター
管理運営事業

22,218 千円

指定管理者による施設の管理運営を通して、「食」と「農」による学びと活力を生み出し、都市と農村地区の交流を図ります。



6次産業化支援事業

2,562 千円

都市と農村の交流センター（えみくる）に設置されたテストキッチンの操作指導等により、生産者の6次産業化を支援します。

- ◆ 地域おこし協力隊による6次産業化支援



テストキッチン操作指導研修会



小麦「きたほなみ」

江別産農畜産物

ブランディング事業

2,829 千円

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組めます。

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を確保するための助成



「食」と「農」の
豊かさ発見実践事業

4,191 千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
- ◆ 中学生：市内生産者等を招いた授業
地場産食材を使ったレシピコンテスト



小学校の農業体験学習

企業誘致推進事業

1,578 千円

札幌市に隣接した立地環境、道内都市や空港・港湾への優れた交通アクセス、豊富な人材、安心して暮らせる都市環境、フード特区への指定、研究機関や4大学の集積など江別市の優位性を活かした積極的な企業誘致を推進します。

- ◆ 企業誘致パンフレット作成
- ◆ 企業誘致活動経費（旅費等）

企業立地等補助金

75,326 千円

江別市に工場等を新築・増築した企業に対して、条例に基づき補助金を交付します。立地補助、雇用補助、下水道使用料補助、設備更新補助の4種類があります。

- ◆ 新規補助対象（2社）



総合特区推進事業

13,747 千円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市等と連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ 食の臨床試験活用企業への機能性食品開発支援
- ◆ 輸出・海外展開の支援
- ◆ フード特区の取組のPR活動



シンガポールで開催した江別フェア



江別経済ネットワーク例会

江別経済ネットワーク事業

138 千円

大学・研究機関・企業などが参加する江別経済ネットワークの活動を支援します。また、江別経済ネットワークでの製品開発の取組をPRします。

- ◆ 江別経済ネットワーク活動支援
- ◆ 製品開発の取組PR

起業化促進支援事業

3,557 千円

市内で起業や事業拡大を目指す方を対象に、起業化促進支援相談員によるアドバイスや、セミナー開催などで支援します。

- ◆ 起業化促進支援相談員による相談の実施
- ◆ 実践創業塾等の開催

商工業活性化事業

2,330 千円

地域経済の活性化のため、研修・研究活動や地域イベントの開催等を支援します。

また、商店街の景観向上のため、店舗外装等のレンガ装飾への助成を行います。

- ◆ 商工業活性化事業補助金「イベント事業」「研修・研究活動事業」ほか
- ◆ 商店街建築協定推進事業

野幌駅周辺地区

商店街活性化促進事業

2,451 千円

江別の顔づくり事業（街路事業）に伴う野幌商店街の再編整備促進に係る地域課題解決のため、コーディネーターを配置し、商店街の活性化を図ります。

- ◆ 商店街再編整備コーディネーター配置委託



働きたい女性のための
就職支援事業 16,569千円

働きたい女性と、女性の労働力を求める企業をつなぎ、女性の社会参加向上と企業の雇用拡大を図ります。

- ◆ 有給研修・市内企業における実務研修の実施
- ◆ 女性向け就職支援セミナーの開催
(ハローワークとの共催)



女性の就職支援 ビジネスマナー研修



大学生有給インターンシップ 研修

有給インターンシップ等
地域就職支援事業 13,493千円

市内企業による大学生有給インターンシップ受入れを支援します。大学生は市内企業で継続してインターンシップを行い、受け入れ企業は従事中の賃金を支払います。

- ◆ 有給インターンシップ事業の実施
- ◆ インターンシップ事前研修
- ◆ 研修拠点の運営

(参考) 政策08
市内大学等インターンシップ事業 372千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ
(3か月間(実働30日)、10名程度)



市内大学等インターンシップ事業 実習報告会



高校生 就職面接指導

高校生就職支援事業 1,688千円

市内高校の生徒に対して、将来の就職に向けた研修やインターンシップ支援、企業交流会を実施します。

- ◆ インターンシップ参加者への事前研修
- ◆ 面接指導・研修
- ◆ 企業交流会



観光振興計画推進事業

11,478 千円

観光振興計画に基づき、観光による交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

- ◆ **新規** 産業連携新商品開発支援
- ◆ 観光推進体制検討会の実施
- ◆ リアル謎解きゲーム開催による周遊促進
- ◆ サイクルツーリズムの推進



地域発見魅力発信事業

4,905 千円

地域資源を活用した江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ 留学生向けバスツアーの開催
- ◆ 市内PR写真集作成
- ◆ ノハナショウブ群生地保存活用
- ◆ 地域おこし協力隊による観光事業支援
- ◆ ものづくりイベントの開催



美味しい江別フェア

食を軸とした
地場産品販路拡大支援事業

445 千円

江別産品の掘り起こしと高付加価値化を図り、ブランド化及び販路拡大を推進します。

- ◆ 北海道産品取引商談会の出展支援
- ◆ 江別産品試食評価相談会の開催
- ◆ 美味しい江別フェア(東京都内で実施予定)の開催支援

江別観光協会補助金

2,585 千円

江別観光協会が取り組む江別市の観光プロモーション活動を支援し、観光客の増加を図ります。

- ◆ 観光パンフレット、観光名刺の作成費補助
- ◆ 観光ボランティアガイド事業の補助
- ◆ 観光特使関係経費への補助
- ◆ イベント等でのPR経費への補助



市内観光パンフレット 「えべつCollection」

江別アンテナショップ
GET'S管理運営事業

8,362 千円

旧ヒダ工場(EBR1)内アンテナショップの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力発信を図ります。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託
- ◆ 市内大学生等と連携した壁面黒板チョークアートの実施



江別アンテナショップGET'S

その他主要事業 (政策02)

■ 地域農業経営安定推進事業	88,850千円
■ 農業振興資金貸付事業	6,080千円
■ 次世代就農定着サポート事業	21,000千円
■ 花き・野菜栽培技術指導センター 管理運営事業	9,567千円
■ 日本型直接支払交付金	189,574千円
■ 道営農業農村整備事業負担金	130,500千円

■ 勤労者生活資金貸付事業	3,500千円
■ シルバー人材センター事業補助金	23,339千円
■ 中小企業資金融資事業	1,440,788千円
■ 江別駅前再開発事業	120,382千円
■ 旧岡田倉庫活用事業	11,841千円
■ 江別商工会議所補助金	8,575千円
■ 工業団地環境整備事業	10,502千円

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

健康都市推進事業

3,336 千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施



スーパーでの野菜摂取啓発イベント



江別オリジナルリズムエクササイズ「E-リズム」

健康づくり推進事業

5,453 千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ **新規** 自殺予防のための相談先一覧カードの作成
- ◆ **拡大** 自殺予防ゲートキーパー養成研修
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援

健康教育事業

1,210 千円

生活習慣病の予防や健康保持増進のため、食生活の改善や運動習慣の定着など健康づくりを推進します。

- ◆ 食生活改善推進員養成講座
- ◆ 喫煙予防教室の実施（小学生）
- ◆ 生活習慣病予防教室の実施（中学生）

成人検診推進事業

74,626 千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ がん検診の実施
- ◆ 集団検診事務の一括委託化
(受付業務、電話受診勧奨、WEB予約運用)



(参考) 特定健康診査等事業

(国民健康保険特別会計) 61,420 千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を行います。

- ◆ 受診率向上のため、低受診率地区への訪問勧奨及び集団検診事務一括委託事業者と連携した電話勧奨
- ◆ 自治会と協働で実施している特定健康診査等推進事業の活用促進



特定保健指導



リハビリテーション職による介護予防体操指導

(参考) 一般介護予防事業（「通いの場」を活用した介護予防・健康づくり）
(介護保険特別会計)

5,321 千円

要介護状態・要支援状態になることを予防し、社会に参加しつつ地域において自立した日常生活を営むことができるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ **拡大** 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防講座、出前講話等の実施
- ◆ 地域リハビリテーション職活動支援

新規 プレミアム付商品券事業 **809,632 千円**

消費税率10%への引き上げに合わせて、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的に、プレミアム付商品券を発行します。

- ◆ 住民税非課税者（対象：27,000人程度）
- ◆ 3歳未満の子が属する世帯（対象：3,000世帯程度）

障害者社会参加支援事業 **5,824 千円**

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ **新規** 意思疎通支援用タブレットの導入
- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行

新規 介護サービス提供基盤等整備事業 **68,000 千円**

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの基盤整備を推進します。

- ◆ 地域密着型サービスの整備

障害者就労相談支援事業 **9,159 千円**

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

市民後見推進事業 **8,668 千円**

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修



市民後見人フォローアップ研修

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	93,990千円
■ 夜間急病センター運営経費	141,650千円
■ 高齢者予防接種経費	52,688千円
■ 障害者自立支援給付費	3,018,713千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	727,644千円
■ 自立支援医療給付費	195,252千円
■ 重度心身障害者医療費	213,692千円
■ 生活困窮者自立支援事業	30,091千円

■ 年末見舞金支給事業	12,976千円
■ 福祉除雪サービス事業	17,241千円
■ 老人ホーム入所措置経費	70,007千円
■ 生活扶助自立助長支援事業	2,649,000千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,043,144千円
■ 病院事業会計繰出金	1,406,857千円
■ 介護保険会計繰出金	1,420,878千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	396,783千円

だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします

地域防災力向上支援事業

3,412 千円

市民への出前講座や防災訓練の実施により、「自助・共助」等の防災意識の啓発を図り、地域防災力の向上を推進します。

- ◆ 防災訓練（総合防災訓練、避難所運営訓練）
- ◆ 防災研修・出前講座
- ◆ 防災あんしんマップの全戸配布



避難所運営訓練



江別市自主防災研修会

災害対応物品整備事業

4,646 千円

災害発生時に必要な物資・資機材について、過去の災害等を考慮して計画的に整備していきます。

- ◆ 毛布、食糧、水、簡易トイレ 等



耐震化推進支援事業

2,311 千円

「江別市耐震改修促進計画」に基づき、現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害を未然に防止します。

- ◆ 耐震診断補助（89千円/件）
- ◆ 補強設計補助（100千円/件）
- ◆ 耐震改修補助（822千円/件）



防災備蓄庫（第一中学校）



空家等対策推進事業

297 千円

空き家の流通・活用の促進や適切に管理されていない空き家等の解消により、安全で安心な住環境を確保します。

- ◆ 空家等対策協議会の開催
- ◆ 危険空き家等への応急対応
- ◆ 特定空き家等の認定

自治会防犯灯設置費補助金

11,495 千円

各自治会等が設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED防犯灯普及奨励金を交付します。

- ◆ 防犯灯設置費補助金（535灯予定）
- ◆ LED防犯灯普及奨励金（493灯予定）



LED自治会防犯灯

消防車両整備事業

72,200 千円

災害発生時に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に整備していきます。

- ◆ 水槽付消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車の更新



現在の水槽付消防ポンプ自動車



救命講習

救急業務高度化推進事業

5,446 千円

救急活動の質を向上させるため、隊員の再教育研修を行います。また、市民を対象とした救命講習会を実施します。

- ◆ 救急救命士の再教育研修
- ◆ 定期的に行う救命講習

交通安全教育・啓発事業

9,050 千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 通学路街頭指導の実施



交通安全教室

119番



新規 消防緊急情報システム

中間整備事業

2,571 千円

運用開始から9年が経過する消防緊急情報システムのうち、主要な装置の更新整備をすることによって、安定的な消防指令業務を行います。

- ◆ 消防緊急情報システムの更新整備

その他主要事業（政策04）

■環境衛生対策促進事業 （市営墓地維持管理）	9,558千円
■やすらぎ苑整備事業	3,591千円
■葬斎場施設整備事業	4,254千円
■江別河川防災ステーション管理経費	22,132千円
■排水機場維持管理事業	64,691千円
■河川等維持事業	7,623千円

■公共街路灯新設更新等事業	70,028千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	32,111千円
■消防緊急情報システム管理経費	25,943千円
■消防車両維持管理事業	17,670千円
■火災予防推進事業	1,483千円
■消防団運営費	30,121千円

暮らしやすさを実感できるえべつに向けて都市基盤の形成をめざします

江別の顔づくり事業

662,218 千円

街路・土地区画整理事業等により野幌駅周辺地区を整備し、安全で快適な都市生活の充実を図ります。

- ◆ 街路事業等
野幌駅南通整備、都市緑地等整備
- ◆ 商業等活性化事業
- ◆ 土地区画整理事業
換地処分の実施



野幌駅前南口広場完成イメージ図



完成したC棟

新栄団地建替事業

943,966 千円

平成30年度に着工したD棟の建設工事を行います。
(全体計画 6棟290戸 平成22~35年度)

- ◆ D棟建設工事(48戸 平成30~31年度)
- ◆ 既存住宅除却工事
- ◆ E棟実施設計

市民参加による
公園づくり事業

40,220 千円

地域の子どもや自治会等とともに、住民に親しまれる公園を整備します。

- ◆ さくら公園再整備工事(東野幌町)
- ◆ 公園再整備のためのワークショップの開催



市民参加による公園づくり事業



除排雪作業

除排雪事業
自治会排雪支援事業

1,225,324 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援

車両整備事業

87,533 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除雪車を整備し、計画に沿って更新を行います。

- ◆ 大型ロータリ除雪車(1台)
- ◆ 歩道ロータリ除雪車(1台)

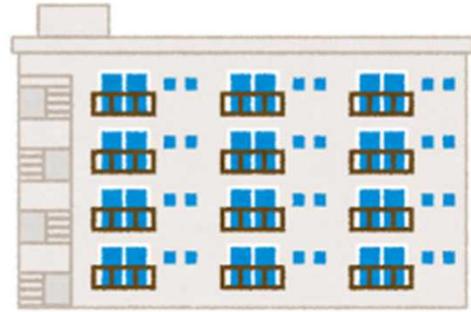


政策05 都市基盤

新規 市営住宅長寿命化計画 策定事業 4,000 千円

平成23年度に策定された江別市営住宅長寿命化計画（平成24年度～平成33年度）の、次期計画策定に向けた調査等を行います。

- ◆ 現状把握調査
- ◆ 計画策定委員会の開催



統合 定住促進事業 5,744 千円

市内外の高齢者や子育て世代など多様な方々の定住を促進するとともに、地域のまちづくり活動を支援します。

- ◆ 定住に関する相談窓口対応
- ◆ 東京圏からの移住に対する支援金制度（北海道との連携事業）
- ◆ 地域おこし協力隊による情報発信・まちづくり活動

住宅取得支援事業 70,000 千円

多世代同居等による転出抑制、多子世帯への転入支援・転出抑制のため、住宅取得費、リフォーム費用の一部を助成します。

- ◆ 親と同居又は近居のための住宅取得費用助成
- ◆ 親と同居するためのリフォーム費用助成
- ◆ 多子世帯への住宅取得費用助成



野幌駅北口バス停

生活バス路線運行補助事業 38,000 千円

生活バス路線の維持・確保のため、市内赤字バス路線への補助を行います。

- ◆ 市内赤字バス路線への補助



公共交通利用促進対策事業 6,123 千円

「地域公共交通網形成計画」に基づき、交通機能を維持・確保し、情報提供の強化等により公共交通の利用促進を図ります。

- ◆ 地域公共交通活性化協議会等の開催
- ◆ 交通計画の推進
- ◆ バスマップ等作成
- ◆ 江北地区デマンド型交通補助金



その他主要事業（政策05）

■野幌駅周辺土地区画整理事業（清算金徴収交付事務）	96,422千円
■公園管理事業	192,589千円
■市営住宅環境改善整備事業	39,571千円
■弥生団地大規模改善事業	129,041千円
■市営住宅管理経費	51,400千円
■道路橋梁管理経費（臨時）	402,963千円
■道路施設再整備事業	255,400千円

■橋梁長寿命化事業	137,776千円
■兵村4番通り道路整備事業	40,376千円
■百間境道路整備事業	57,450千円
■道路補助関連事業	38,600千円
■建設機械等維持管理事業	47,088千円
■水道事業会計繰出金	64,115千円
■下水道事業会計繰出金	1,004,627千円
■石狩東部広域水道企業団繰出金	67,005千円

未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

待機児童解消対策事業

2,859 千円

待機児童の解消に向け、受け皿となる教育・保育施設等に対し、保育従事者の養成などにより支援します。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 企業主導型保育施設開設に向けた市内企業等へのPR
- ◆ **新規** 保育士等人材バンクの充実・利用促進



よつば保育園 (平成28年11月開園)



保育園の地域清掃活動

民間社会福祉施設整備費

補助事業

261,858 千円

民間事業所が行う認定こども園施設等の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備を促進します。

- ◆ 認定こども園施設整備に対する補助 (1施設)
- ◆ **新規** 保育所等における事故防止推進事業補助
- ◆ 民間保育施設の建設費償還金補助

教育・保育施設等給付事業

2,496,677 千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国の定める公定価格に基づく給付費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ **新規** 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化 (平成31年10月から)



病児・病後児保育事業

21,145 千円

病児・病後児保育を実施している事業所に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ 病児・病後児保育実施事業所への補助
- ◆ 感染症流行情報等の発信、保育施設の巡回・情報共有に対する補助

保育料の独自軽減

「えべつ・安心子育てプラン (江別市子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 22.52%

※軽減率は年度当初のもので、幼児教育・保育無償化による影響は反映しておりません。



よつば保育園 (園内風景)

新規 医療的ケア児支援事業

811 千円

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行います。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施します。

- ◆ 看護師3名を学校に配置
- ◆ 医療的ケア運営協議会の運営



スクールソーシャルワーカー事業

6,833 千円

いじめ・不登校・非行など問題を抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが教育分野や福祉分野の専門的な知識や経験を活用して支援します。

- ◆ 問題を抱える児童生徒への支援
- ◆ 学校・家庭・関係機関の調整

小中学校学習サポート事業

8,939 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチーム・ティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）



複数教員による指導



外国語指導助手による授業

小中学校外国語教育支援事業

34,929 千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手が、小学校全学年で外国語教育を行います。

また、中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チーム・ティーチングを行います。

- ◆ 外国語指導助手の配置（10名）

児童生徒体力向上事業

665 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的に行える「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前授業の実施（5校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



児童生徒体力向上事業 出前授業



タブレットPCを使った授業

情報教育推進事業

52,726 千円

児童生徒のICT教育を推進するため、パソコンやデジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ 教育用パソコン等ICT機器維持管理経費
- ◆ 教育用パソコンの更新（タブレットPC導入）

**放課後児童クラブ
運営費補助金** 114,669 千円

民間放課後児童クラブに対し、設置・運営に係る費用の一部を助成し、市内における放課後児童健全育成の充実に努めます。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ **新規** 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 2クラブ分増（16クラブ→18クラブ）



児童センターでの活動

放課後児童クラブ運営事業 14,974 千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者へ委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



児童館地域交流推進事業 56,847 千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センターの運営
- ◆ **拡大** 森の子児童クラブの定員拡大（20名→40名）

**放課後児童クラブ
待機児童対策事業** 4,371 千円

公設放課後児童クラブにおける待機児童対策として、併設する児童センターにおいて受け入れ体制の拡大を図り、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供

**親子安心育成支援事業
（子育てひろば事業）** 24,981 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ほこ あ ほこ』を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ほこ あ ほこ』
原則無休 9:30～17:30 利用料無料
0歳～小学校3年生まで（保護者同伴）
（図書コーナーは小学校6年生まで）



あそびのひろば

あそびのひろば事業 2,626 千円

地域の子どもの遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 地域あそびのひろばの開催

その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	107,458千円
■ 児童扶養手当	589,922千円
■ 児童手当	1,550,325千円
■ 乳幼児等医療費	149,848千円
■ ひとり親家庭等医療費	45,853千円
■ 予防接種経費	193,666千円

■ 幼稚園就園奨励費補助金	102,130千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	7,202千円
■ 特別支援教育推進事業	36,167千円
■ 特別支援学級生活介助事業	51,234千円
■ 学校給食事業	252,812千円
■ 小・中学校教育扶助費	180,000千円

心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします



7人制ラグビーオーストラリア代表との交流

新規 ラグビーワールドカップ公認
チームキャンプ地受入事業 28,160千円

日本で開催されるラグビーワールドカップ2019における公認チームキャンプ地として、オーストラリア代表チームを受け入れます。

- ◆ キャンプ受け入れに要する仮設設備等の設置
- ◆ チーム歓迎イベントの実施
- ◆ 地域交流イベントの実施

新規 スペシャルオリンピックス冬季
ナショナルゲーム開催補助金 5,000千円

江別市で開催される冬の知的障がい者スポーツ競技全国大会にかかる開催経費の一部に対し、補助を行います。

- ◆ スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲームに対する補助 (2020年2月開催予定)



スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲーム
過去の大会の様子



第4回江別市中学校・高校美術部合同展 (2018)

セラミックアートセンター
企画展開催事業 9,982千円

「やきもののまち江別」のイメージを市民と共有し、優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展を開催します。

- ◆ 地域文化功労者表彰記念展
「手島圭三郎 北の大地に春の息吹きを感じて」
- ◆ 開館25周年記念展「陶磁器界の三天才
小森忍・河井寛次郎・濱田庄司」
- ◆ 「第5回江別市中学校・高校美術部合同展」
- ◆ 「えべつFUROSIKIフェスティバル2019」

えべつ市民カレッジ (四大学
等連携生涯学習講座) 事業 196千円

市内の4大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に学ぶ機会を提供します。

- ◆ ふるさと江別塾開催
- ◆ えべつ市民カレッジの市民向けPR



ふるさと江別塾

その他主要事業 (政策07)

■ 市民文化ホール管理運営事業	51,503千円
■ コミュニティセンター管理運営事業	16,670千円
■ 公民館管理運営事業	93,582千円
■ 図書館運営管理事業	74,310千円
■ 図書館設備等更新事業	21,803千円
■ 陶芸文化普及振興事業	6,444千円
■ 市民文化祭開催支援事業	2,400千円

■ 芸術鑑賞招へい事業	1,850千円
■ 屋内体育施設管理運営事業	186,108千円
■ スポーツ大会等振興補助事業	44,785千円
■ 体育施設整備更新事業	7,800千円
■ セラミックアートセンター 管理運営経費	40,584千円

市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえべつをめざします

市民協働推進事業

3,131 千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 公募による協働のまちづくり活動への補助
- ◆ 市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップの開催
- ◆ 市民活動情報誌の発行



江別市民活動見本市



早朝ミニ講座

協働を知ってもらう啓発事業

703 千円

未来のまちづくりを担う子どもたちに協働の理念を知ってもらうため、クリアファイルとパンフレットを、小学4年生・中学2年生に配付します。また、早朝ミニ講座も行います。

- ◆ 小学4年生へのクリアファイル配付
- ◆ 中学2年生へのパンフレット配付
- ◆ 早朝ミニ講座(小学4年生・中学2年生)の実施

自治会活動等支援事業

79 千円

地域活動(自治会・市民活動など)が活性化することを目指し、地域の活動を担う人材育成を支援します。

- ◆ えべつ地域活動運営セミナーの開催
- ◆ 自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換会の実施



えべつ地域活動運営セミナー



男女の出会いの場づくり支援事業

男女の出会いの場づくり

支援事業

410 千円

結婚したい若い世代に出会いの場を提供するとともに、市の魅力をPRすることにより、定住人口・交流人口の増加を図ります。

- ◆ 独身男女の出会いを支援するイベント



友好都市提携40周年記念事業

2,095 千円

土佐市との友好都市提携40周年を記念した事業を実施します。

- ◆ 土佐市への訪問
記念式典・祝賀会等への参加



土佐市のマスコットキャラクター「とさごん」と「お竜」



土佐市・江別市友好都市提携35周年記念祝賀会の様子

学生地域定着自治体連携事業 3,417 千円

市内4大学に通う学生を対象に、卒業後の地域定着を図るため、学生が地域活動やインターンシップなどに参加するためのコーディネートを行います。

- ◆ 道内8自治体等で組織する学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生の地域活動等と受入先とのマッチング支援
- ◆ 市内における学生の地域活動への参加支援



学生地域定着自治体連携事業

大学連携学生地域活動支援事業 400 千円

市内4大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金（上限10万円）

大学連携調査研究助成事業 2,639 千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金（上限100万円）
- ◆ 大学連携事業報告会の開催



大学版出前講座

大学版出前講座支援事業 30 千円

市内4大学が専門知識を生かし、地域等へ出向いて実施する出前講座を支援します。

- ◆ 出前講座の登録
- ◆ 出前講座の周知・広報
- ◆ 出前講座の開催調整



市内大学等インターンシップ事業 372 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ（3か月間（実働30日）、10名程度）



市内大学等インターンシップ事業 実習報告会

その他主要事業（政策08）

■自治基本条例啓発事業	186千円
■江別市民活動センター・あい施設管理費等補助金	1,897千円
■住区会館管理運営事業	57,524千円
■市政協力事業補助金	7,929千円
■地域自治活動事業補助金	17,758千円

■住区会館施設整備事業	12,057千円
■自治会館運営補助金	3,527千円
■小中学生国内交流研修事業	1,578千円
■国際交流情報提供事業	5,650千円
■江別国際センター施設管理費等補助金	3,223千円
■中学生国際交流事業	2,225千円

透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します

新規 生涯活躍のまち整備事業

3,977 千円

江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指し、生涯活躍のまち形成事業計画を策定します。

- ◆ 生涯活躍のまち形成事業計画策定

大学生転入・住民登録推進事業

195 千円

市内4大学の新入学生や在校生に対して、江別市内への転入や適正な住民登録を促します。

- ◆ 入学生、在校生に対する住民登録制度周知パンフレットやポスターの作成、配布

えべつシティプロモーション事業

5,355 千円

江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、市民と行政が一体となったプロモーションを実施します。

- ◆ 子育て世代向けセミナー
- ◆ SNSによる地域PR
- ◆ 地域おこし協力隊による地域PR



子育て世代向けセミナー



江別生活ガイドブック、転入促進パンフレット、市勢要覧

ウェルカム江別事業

1,112 千円

交通の利便性や割安な不動産価格などの優位性、快適な住環境、充実した教育体制、子育て政策など、江別市の魅力を市外の子育て世代にPRし、転入者の増加を目指します。

- ◆ 転入促進パンフレットの作成
- ◆ 特設サイトの充実
- ◆ YouTube動画の配信

ふるさと納税普及促進事業

42,550 千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産品等のPRのため、ふるさと納税をしていただいた方（寄附者）に対し返礼品等を贈呈します。

- ◆ ふるさと納税者（寄附者）への返礼品等贈呈
- ◆ **拡大** 掲載するポータルサイトの追加



ふるさと納税「江別市特産品カタログ」

その他主要事業（政策09・政策の総合推進）

■住民情報システム高度化事業 （基幹系システム運用）	134,643千円
■市税電話催告等委託事業	6,427千円
■個人番号カード発行関連経費	29,385千円
■職員研修事業	8,142千円
■ネットワーク網整備・保守事業	71,768千円

■ホームページ運営事業	799千円
■広報えべつ発行等事業	15,571千円
■男女共同参画啓発事業	914千円
■庁舎維持管理経費	92,424千円
■平和のつどい開催経費	1,002千円
■市民会館管理運営事業	87,466千円

特別会計

24,258,000千円 (前年比+3,000千円、+0.0%)

国民健康保険特別会計

12,253,000 千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進のために必要な事業を行います。

- ◆ 国民健康保険事業費納付金の増加等により、前年比0.3%増加します。
- ◆ 国保税の軽減や健診事業等のため一般会計から1,043,144千円の繰り入れを受けます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業の推進を実施します。

後期高齢者医療特別会計

1,713,000 千円

主に75歳以上の高齢者の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、保険料の管理や、申請受付等の各種事務を行う会計です。

- ◆ 被保険者が納付する保険料 1,314,778千円
- ◆ 低所得者の保険料軽減に対する公費負担 345,840千円
- ◆ その他事務費など 52,382千円

介護保険特別会計

9,916,000 千円

高齢化による介護を必要とする方の増加を見据え、介護保険事業計画に基づき事業を進めていきます。

- ◆ 第7期介護保険事業計画（平成30年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計

376,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市営住宅環境改善整備など市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計

17,628,911千円 (前年比△347,552千円、△1.9%)

水道事業会計

3,826,831 千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、引き続き基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備を行うほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

下水道事業会計

5,876,245 千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、重要度や緊急度を考慮した長寿命化計画に基づき、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

病院事業会計

7,925,835 千円

- ◆ 病院事業では、地域における医療体制を維持するため、内科医師の確保に努めるとともに、診療科間の連携強化を図ります。
- ◆ 江別市立病院新公立病院改革プランに基づく収益性の改善・経費削減をより一層推進し、経営改善に努めます。
- ◆ 今後の医療環境の変化に対応できるよう、地域における市立病院の役割を再検討します。
- ◆ 病院運営について積極的なPR活動を行い、市立病院の市民への周知、さらなる理解の浸透を図ります。
- ◆ 健康都市の実現に向けて、在宅診療の充実に努めます。

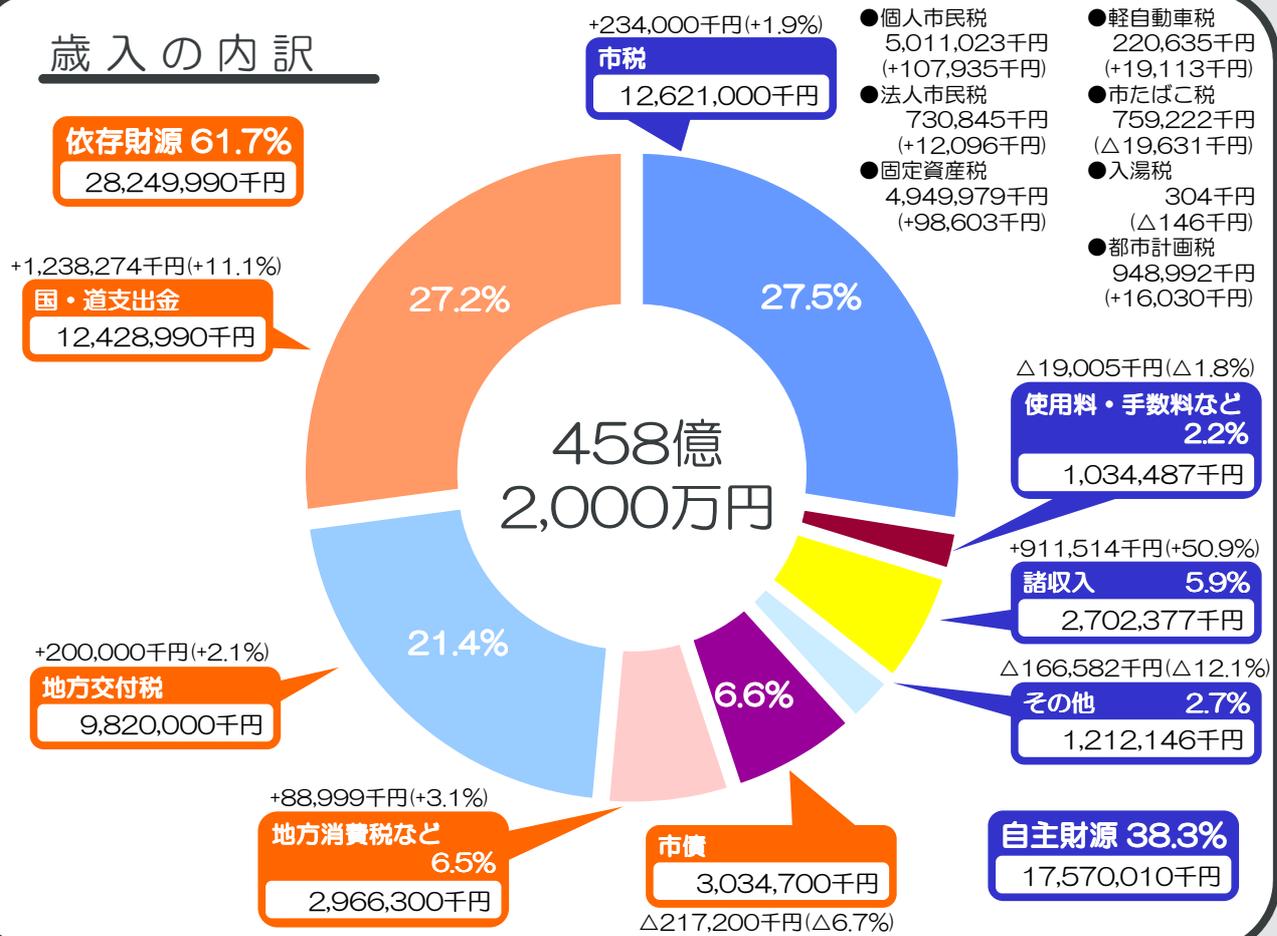


江別市水道庁舎

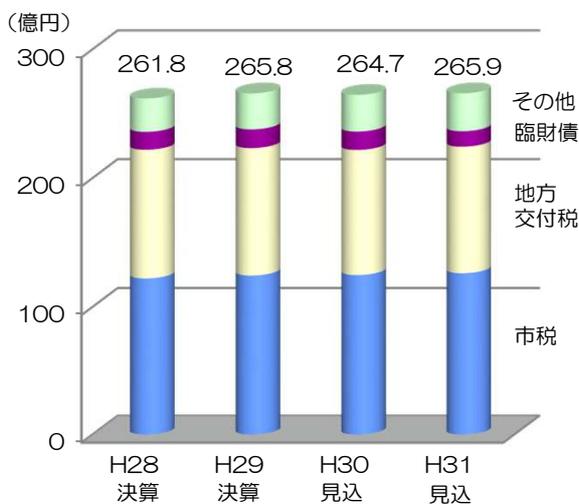


江別市立病院

歳入の内訳

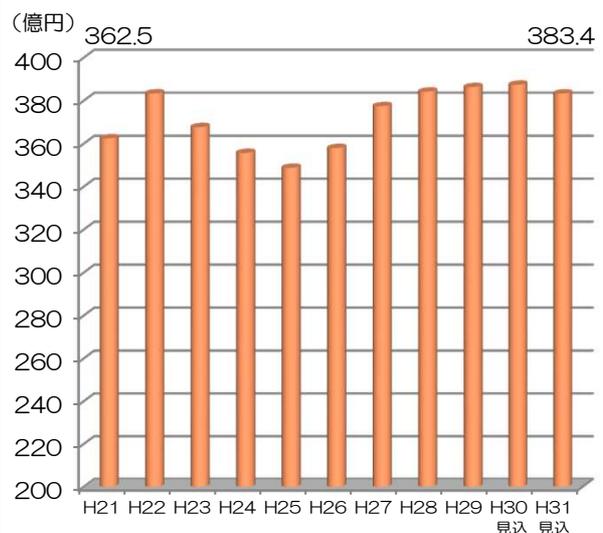


一般財源総額の状況



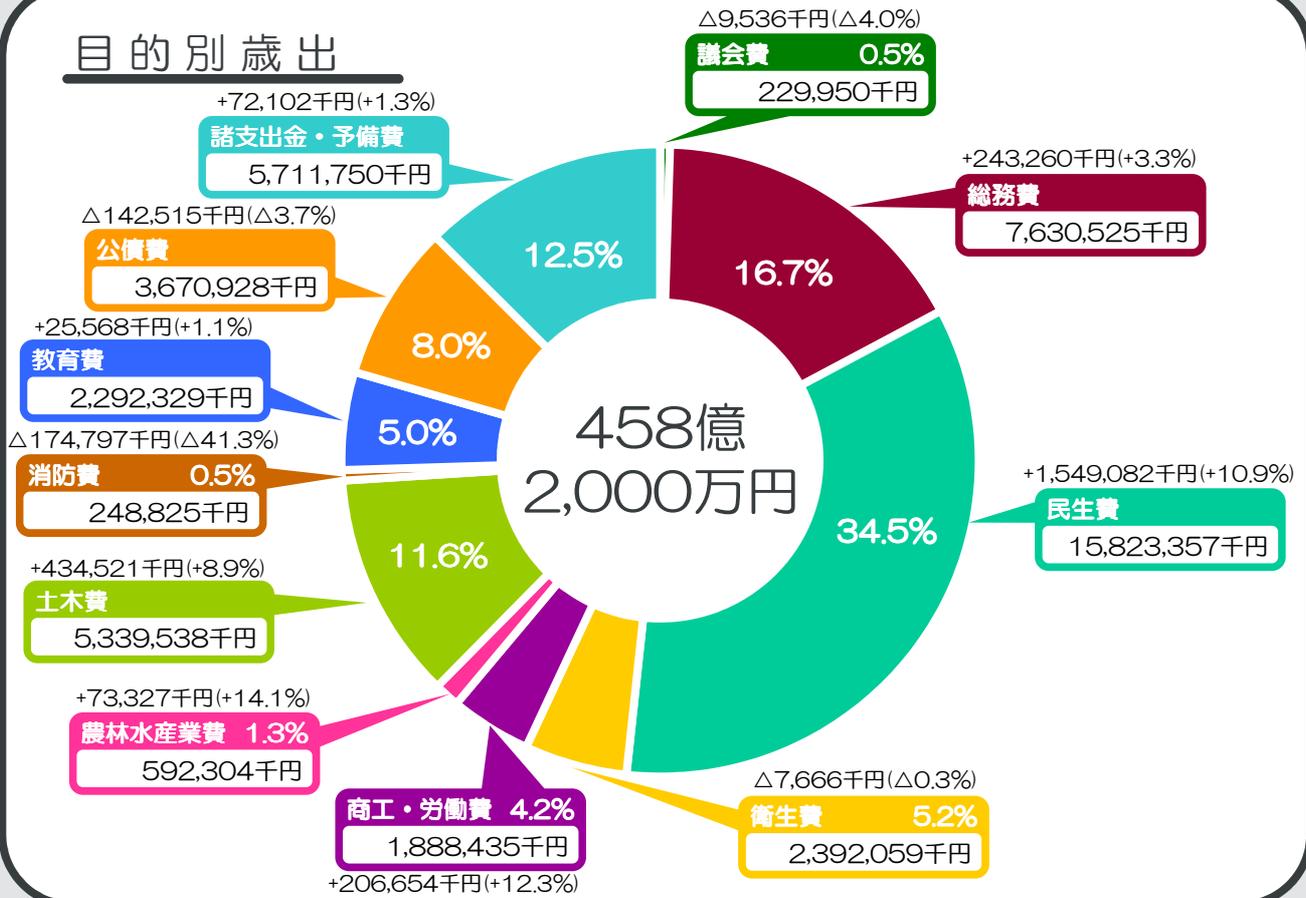
市税、地方交付税、臨時財政対策債及びその他（譲与税・交付金）を合算した一般財源総額は、約260億円台で推移しています。

市債残高の推移



市債の残高は平成25年度末には349億円まで減少、平成26年度以降は学校耐震化や市営住宅の建替えなどにより増加を続けていましたが、大規模事業の終了に伴い平成31年度は減少に転じる見込みとなっています。

目的別歳出



性質別歳出

